

団体名

大殿ホタルを守る会

代表者名	<small>ふくなが としあき</small> 福永 俊明	所在地	山口市
設立年	平成3年（1991年）	会員数	26人
団体の目的	ホタルの生息地である一の坂川及び樫野川周辺の環境保護に努めるとともに、山口ふるさと伝承総合センターにおけるホタルの保護飼育に協力する		
主な活動内容	<p>○国の天然記念物「山口ゲンジボタル」を守るため、地域住民や町内会、小学校などと協働しながら、河川清掃、ホタル成虫（メス）の採取、人工ふ化、幼虫の飼育、放流等を毎年実施</p> <p>○室町時代の和歌「<small>かんていのほたる</small>灌底蛸」の歌碑を建立し、ホタルにまつわる大内文化の発信に尽力</p>		



ゲンジボタルの幼虫を放流



人工飼育（左上：ホタルの幼虫）

団 体 名

下関奇術連盟

代 表 者 名	いけうち ただよし 池内 忠良	所 在 地	下関市
設 立 年	昭和３３年（１９５８年）	会 員 数	２２人
団 体 の 目 的	奇術（マジック）を余技として、人生を享樂し、ボランティア等にも協力をする団体であるとともに、地域の芸術文化の発展に寄与する		
主 な 活 動 内 容	○昭和３３年の団体設立以来、奇術を通じて地域の芸術文化の発展に寄与するとともに、福祉施設や自治会等からの依頼に応じ、施設行事や地域のふれあい活動などで奇術による交流を実施 ○下関市芸術祭「奇術の祭典」に毎年参加		



公民館での奇術披露

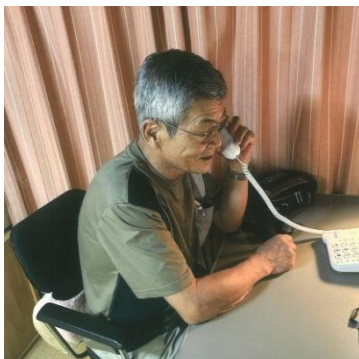


奇術の祭典

団 体 名

チャイルドラインしものせき

代 表 者 名	なかがわ こういち 中川 浩一	所 在 地	下関市
設 立 年	平成23年（2011年）	会 員 数	41人
団 体 の 目 的	18歳までの子どもがかける「子どもの電話」に関する事業を行い、子どもの状況を社会に伝えるとともに、「子どもの権利条約」の啓発、子どもが豊かに育つ環境創りに寄与する		
主 な 活 動 内 容	○電話で直接子どもたちの声を聞き、気持ちを受け止める「チャイルドライン」を毎週木曜日の16時から21時まで開設 ○子どもの現状を知る「子ども講座」及びチャイルドラインの受け手養成講座を開催		



電話相談



養成講座

団 体 名

野菊の会

代 表 者 名	<small>ふくしげ かずよ</small> 福重 和代	所 在 地	山陽小野田市
設 立 年	令和元年（２０１９年）	会 員 数	５０人
団 体 の 目 的	視覚障がい者と晴眼者がともに集い、自然を楽しみながらハイキングや野外活動を楽しみ、会員相互の親睦を深めることを通して、視覚障がい者の社会参加を促進し、健康維持増進、福祉の向上を図る		
主 な 活 動 内 容	○物見山（山陽小野田市）やときわ公園、秋吉台など自然の中で、視覚障がい者と晴眼者が一緒にハイキング等を楽しむ会を企画・実施 ○小学校での視覚障がい者サポート体験や、高校と連携した当会のキャラクター作成などの普及啓発活動を実施		



ハイキング



サポート体験

団 体 名

ブランニューフォース

代 表 者 名	ここの ひろあき 河野 宏明	所 在 地	柳井市
設 立 年	平成5年（1993年）	会 員 数	30人
団 体 の 目 的	会員相互の親睦と会員の地位向上を図るとともに、柳北地域の発展に寄与する		
主 な 活 動 内 容	○柳井市の柳北地区において、コミュニティ協議会や小学校等と連携し、石井ダムまつりや桜のライトアップ、盆踊り、どんど焼きなどのイベントを毎年企画・実施し、幅広い世代の交流の場を創出 ○市の柳北地区「地域の夢プラン」策定作業の主要メンバーとして尽力		



夜桜ライトアップ（石井ダム）



どんど焼き（柳北小校庭）

団 体 名

あぶのべっぴん市

代 表 者 名	お だ ち ぎ く 小 田 千 菊	所 在 地	阿武町
設 立 年	平成30年（2018年）	会 員 数	10人
団 体 の 目 的	空き家や空き店舗を活用して、地域住民にコミュニティの場を提供し、阿武町の地域活性化につなげる		
主 な 活 動 内 容	○当団体は会員全員が女性であり、行政や関係団体と連携しながら、空き家等を活用して「あぶのべっぴん市」を毎年開催するなど、女性が中心となって、地域産品の販路拡大・知名度向上や交流の場を創出		



手 作 り 品 展 示 ・ 販 売



餅 つ き 大 会